

## 案内

### オーストラリア・クリスチャンファミリー・ホームステイ・プログラム

#### 青山キャンパス

日時 6月17日(火) 12時40分～13時10分

場所 17310教室

日時 6月26日(木) 12時40分～13時10分

場所 17309教室

#### 相模原キャンパス

日時 6月23日(月) 12時40分～13時10分

場所 B404教室

### 青山学院フィリピン訪問プログラム報告会

#### 相模原キャンパス

日時 6月23日(月) 12時40分～13時10分

場所 ウェスレー・チャペル ラウンジ

### 青山キリスト教学生会(ACF)主催 青山伝道集会

日時 6月25日(水) 14時10分～16時

場所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

講演 シュー土戸 ポール (学院宗教部長・大学宗教主任)

### 清里サマー・カレッジのお知らせ

日時 8月4日(月)～6日(水) 2泊3日

場所 キープ自然学校(山梨県北杜市高根町清里)

特別講師 北川 正 弥(代々木中部教会牧師、講談師)

テーマ 「キーワードは青春!!! 出会い ふれあい 語り合い」

学内講師 文学部:Eric McCready

教育人間科学部:河本 洋子

経済学部:小張 敬之

経営学部:Brian Duff

理工学部:Guillaume Lopez

宗教部長:伊藤 悟

宗教主任:シュー土戸 ポール、大島 力、塩谷 直也、高砂 民宣、

シェロ マイク、森島 豊、福嶋 裕子、大宮 謙

参加費 13,000円(往復貸切バス代込)

参加申込締切:7月2日(水)各キャンパス宗教センター

詳細はパンフレットをご覧ください。

# 青山学院大学礼拝週報

2014. 6. 16.

No. 11

神の国節第1週

## 聖書の人々 [41]

### 「イエスの母マリア」

Mary the mother of Jesus

イエスの母マリアは、ルカ福音書において最も陰影深く描かれています。マリアはナザレというガリラヤの町に住む貧しい女性であったが、信仰深く敬虔な人物でした。イエスを聖霊によって身ごもっていることを知らされると、「お言葉どおり、この身になりますように」と答えています。

そのあとで「マリアの賛歌」と呼ばれる深くて壮大な歌をうたっています(ルカ1:47-56)。

また、不思議な出来事に会おうとそれらを心に納め、思い巡らす女性でもありました。イエス誕生時も、また12歳の時にイエスが神殿で学者たちと議論をしていた時も同様でした(ルカ2:19, 51)。

しかしそれはマリア崇拜につながるものではありません。マリアは「女の中で祝福された方」あるいは「主のお母さま」と呼ばれますが、それは彼女を神聖化するものではなく、むしろ神の言葉を聞き、それを守って生きる人間のモデルとしての意味をもっています(ルカ11:27, 28)。彼女はおそらくイエスの十字架刑を見届けた一人であり、さらにはキリスト教会誕生前の弟子たちの共同体の中で重要な存在であったと考えられます(使徒言行録1:12-14)。



グーテンベルクの「四十二行聖書」  
ファクシミリによる復刻版

(宗教センター蔵:相模原キャンパスウェスレー・チャペルに展示中)  
写真は新約聖書マタイによる福音書第1章部分

## 今年度の主題聖句

神から受けた純真と誠実によって

(コリントの信徒への手紙 二 第1章12節)